

## 倫理審査委員会議事

1. 日時 平成29年10月19日(木) 15:11 ~ 15:25
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 薬物依存治療部長、精神科医師(長嶋先生)、事務部長、看護部長、薬剤科長、矢崎外部委員、三好外部委員  
庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨  
課題名 足浴・足関節背屈運動による、高齢者の下肢の浮腫への効果  
(申請者 看護師(8病棟) 高山 桃子)

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 効果があるか分かっているのですか。

申請者

○ 効果がどの程度あるのかを今回の研究で明らかにしていきます。

委員

○ どの程度効果があるのかをどういう方法で行うのですか。

申請者

○ 最大下腿周径、足首周径、足背周径を足浴後、運動後に計測します。

委員

○ 過去の研究の結果を踏まえて、この研究はどこか新しいところがあるのですか。

申請者

○ 過去の研究は足浴のみ等で結果が出ていますが、今回の足浴と足関節の背屈運動を組み合わせるとの効果は先行研究では見つかりませんでしたので、新たに研究するものであります。

委員

○ 対象者は浮腫んでいる人、浮腫んでいない人を分けて行うのですか。

申請者

○ 対象者としては浮腫んでいる人を選んで行います。

委員

○ どれ位の効果があったら、これを取り入れていこうと思っているのですか。

申請者

○ 少しでも効果があれば取り入れていこうと思っています。

委員

○ 認知症がひどい人は、自覚症状の話とか聞けるのでしょうか。

申請者

○ 聞けない場合でも、協力していただけるのであれば、同意書を家族に書いてもらいます。

委員

○ 皮膚のコンディションが悪い人に対して注意とかあるのですか。

申請者

○ 傷があるようでしたら、研究は行わないようにしていきたいと思えます。

委員

○ 人数は確保出来るのですか。

申請者

○ 出来ます。

委員

○ 入院後何日以上経ってから研究を始めるとか設定はあるのですか。

申請者

○ ありません。

【審査結果】

議題 足浴・足関節背屈運動による、高齢者の下肢の浮腫への効果  
承認してよろしいか。  
→異議なし（承認）

以 上